

10月8日 幹事会前の勉強会感想

高田支部 支部長 中本 明

講師 スキャドロン株式会社 代表取締役 多根井 則博 様

講演内容【ドローンや3Dレーザースキャナを活用した新技術提案】

- 1) ドローンってどんなの
- 2) 3次元測量のしくみ
- 3) 3次元測量の魅力
- 4) サーマルドローンは高所点検を救う
- 5) ドローン空撮紹介

ドローンを使って三次元測量する

レーザードローン（装置の値段は2500万円）を使うと上空から草や木が生い茂っていても地盤面を測定でき、敷地が広ければ広いほどドローンの威力が発揮される。コスト、所用時間短縮としても画期的な道具である。

3次元測量の未来

道路の拡張計画がある場合、現状を3次元測量で行い計画後の風景をアニメーションでバーチャルな空間を作り出すことが可能である。

測量から都市計画にまで応用が可能となってきている。

【感想】

テープをもって測量していた時から光波測量の時代となり、これからの測量はドローンを操縦してできるようになってきています。

今回、多根井社長の話を聞き、建築業会にもITが浸透してきていることをひしひしと感じました。

高田支部からは15名参加し、皆さん真剣に聞き入っていました。お忙しい中ご協力いただきました多根井様には感謝申し上げます。



多根井 様



勉強会の様子